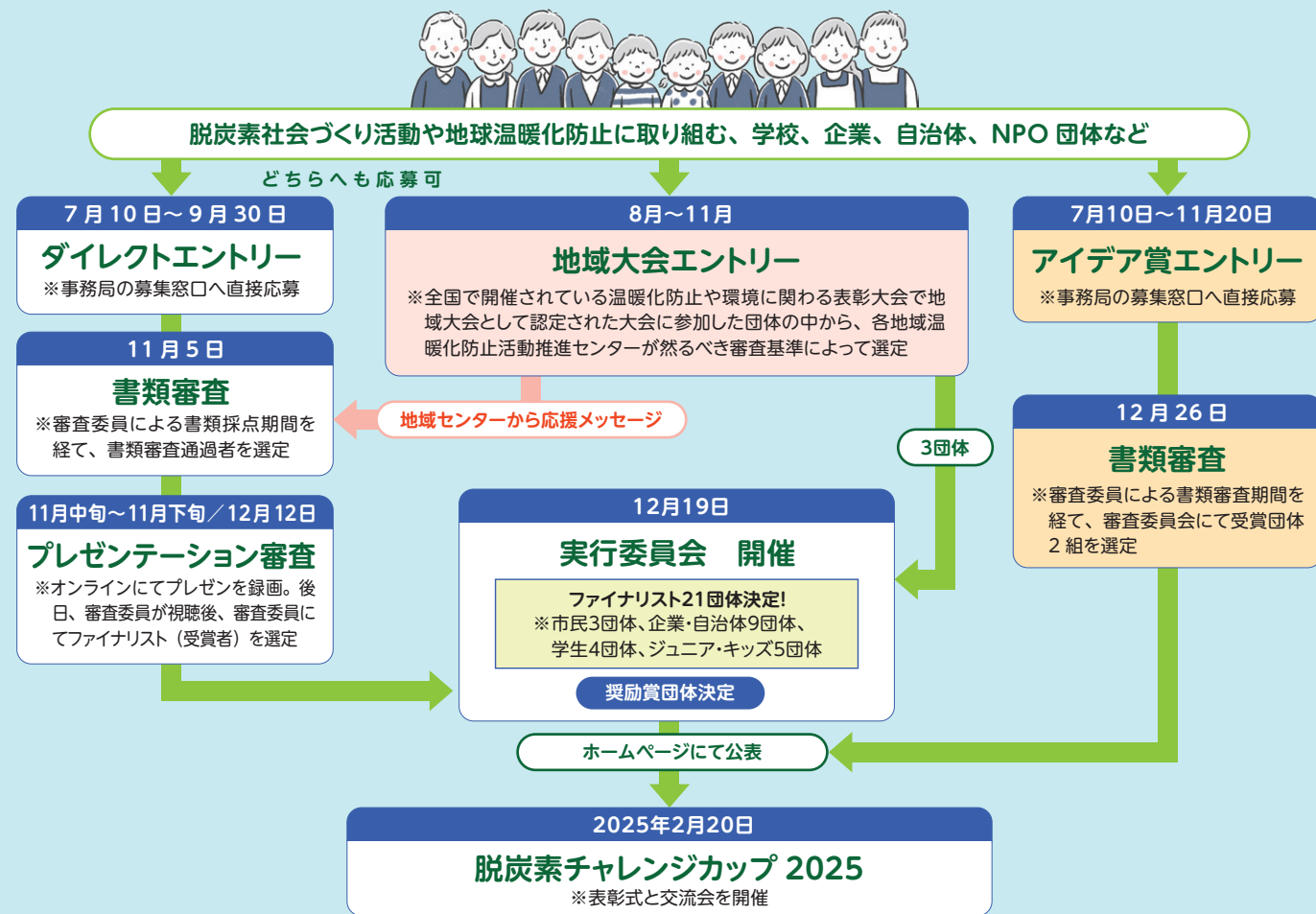


■ エントリー募集から「脱炭素チャレンジカップ2025」開催までの流れ



■ 表彰内容



環境大臣賞
グランプリ
応募取組から
特に優れた取組に贈呈(1組)



環境大臣賞
金賞
応募取組から各部門で
特に優れた取組に贈呈(4組)



文部科学大臣賞
社会活動分野・学校活動分野
応募取組からそれぞれの主旨に沿う
優れた取組に贈呈(2組)

■ 企業／団体賞

本大会の協賛企業が評価した取組に贈呈(10組)

■ 審査委員特別賞

大臣賞には至らなかったが、特に審査員が認めた取組に贈呈
(1組)

■ マクドナルドオーディエンス賞

WEB投票で得票数の多かった上位3団体に贈呈(3組)

■ 優秀賞

地域で特に優秀な取組と認められたファイナリストに贈呈
(複数組)

■ フォトセッション&交流会



集合写真



獎勵賞表彰



奨励賞インタビュー

■ 来賓挨拶



環境省 地球環境局
地球温暖化対策課
脱炭素ライフスタイル推進室長

島田 智寛

今回、脱炭素チャレンジカップ受賞された多くの取組を拝見しまして、本当に感銘を受けまして、環境政策を担当している私としてもすごく励まされる思いがありました。

私の担当しているところでは国民運動デコ活を進めておりますが、これは国全体がカーボンニュートラルに向かわなければいけない中で、衣食住、移動、買い物、働き方など暮らしの全領域にわたって脱炭素なライフスタイルを協力しながら進めていこうという国民運動です。ぜひ脱炭素チャレンジカップに参加された皆さまとも協力しながら進めたいので、皆さまの参画をお待ちしております。

国の方では政府一体となってGX2040ビジョン、地球温暖化対策計画、エネルギー基本計画の閣議決定をしました。最前線で取り組んでおられる皆さまからのお声をいただきながら、また、皆さまと連携しながら大きな力にしていきたいと思っておりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

今日の脱炭素チャレンジカップがカーボンニュートラルに向かっていく貴重な一歩となりますことを祈念しましてご挨拶とさせていただきます。



文部科学省総合教育政策局
男女共同参画共生社会学習・
安全課長補佐

濱部 威一郎

各賞を受賞された皆さま、誠におめでとうございます。皆さまの熱意のこもった素晴らしい取組を拝見しまして、皆さまの日頃からのご努力、ご尽力に心から敬意を表します。

脱炭素に関する政府の動きとしましては、令和3年6月に地球温暖化対策の推進に関する法律が改正され、2050年までの脱炭素社会の実現、環境・経済・社会の統合的向上、国民を始めとした関係者の密接な連携等が地球温暖化対策を推進する上での基本理念として示されたところです。まさに皆さまの活動やそれを支援する企業の皆さまの存在が地球温暖化対策に向けて非常に重要であると感じています。

文部科学省としても、学校における環境教育の充実や体験活動の推進、持続可能な開発のための教育であるESDの推進などに取り組んでいるところです。また、昨年5月には関係省庁とともに、環境教育等の推進に関する基本的な方針を変更しました。この基本方針では、現代社会が直面している気候変動の危機に対応するため、あらゆる主体や世代の皆さまが環境保全活動に参画し、活動を通じた個人の変容を組織や社会経済システム等の変革に連動させていくことが重要であると示されています。皆さまの取組は、まさに行動変容ひいては社会経済システムの変革にもつながる活動として具体的に実践されているものと感じております。

今後も様々な場で学んだ経験や知識を活かし、持続可能な社会の実現に向けて、脱炭素、地球温暖化防止に関わる活動に積極的に取り組んでいただきますようお願い申し上げます。